

## カラービデオ受像機

取扱説明書 **工事説明付き**

品番 **WV-CM148**

### もくじ

このたびはカラービデオ受像機をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保存し、必要なときにお読みください。

保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

保証書別添付



上手に使って上手に節電

商品概要	2	VTRへ録画する	11
付属品をご確認ください	2	「タイムラプス」または「リニアスローモード」で録画する	11
安全上のご注意(必ずお読みください)	3	通常モードで録画する	11
使用上のお願い	5	VTRの再生画を見る	12
各部の名前と動き(前面)	6	1画面表示で見る	12
操作のしかた	8	4画面で見る	9
電源を入れる	8	自動切換で見る	10
カメラの映像を見る	8	スタンバイ機能の使いかた	10
1画面表示で見る	9	VTRの再生画を見る	12
4画面で見る	9	1画面表示で見る	12
自動切換で見る	10	4画面表示で見る	13
スタンバイ機能の使いかた	10	早送り/巻き戻し/一時停止などで見る	13
設定のしかた	14	録画出力映像への黒画の挿入/非挿入	18
設定項目	14	アラーム録画モード/リモート操作の選択	18
設定操作に使用するスイッチ	15	アラーム動作自動復帰時間の選択	19
設定手順	15	アラーム時間、ブザー音の出力時間の選択	19
基本操作	15	チャンネル別低輝度補償の設定	20
カメラIDに関する設定	16	工場出荷時の状態にリセットする	20
カメラ音声の選択	17		
4画面ページの切換時間の選択	17		
自動切換(シーケンス)時間の選択	17		
録画出力タイミングの選択	18		
工事を始める前に	21	VTRの接続	25
各部の名前と動き(後面)	22	アラームの接続	26
接続のしかた	24	端子台について	27
カメラの接続	24	システム接続例	29
故障と思われる前に	30		
仕様	31		

はじめに

操作のしかた

設定

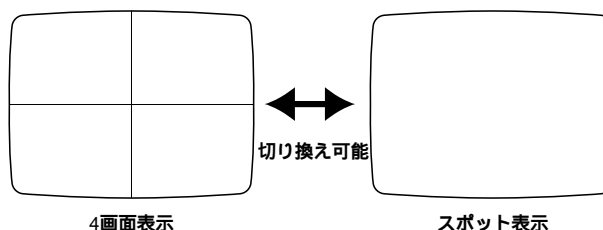
工事

## 商品概要

本機は、カラーテルックカメラ用の14型カラービデオ受像機です。

### 監視機能

- 「4台のテルックカメラと4台のシステムカメラ」または「8台のシステムカメラ」を接続できます。
- モニター画面を4分割して4画面表示できます。特定のカメラの画像をスポット表示(画面全体に表示)に切り換えて表示することもできます。
- シーケンス機能を内蔵しており、接続されているカメラの画像を自動で切替表示できます(画像切替時間は設定メニューで選択)。
- 増設モニター出力を使って、本機の表示画面を他のビデオ受像機に表示することができます。
- リモート入力を使って、モニターへの表示選択操作を遠隔で行うことができます。
- アラーム入力と連動して、警告音を鳴らすとともにカメラの画像を切り換えることができます。
- アラーム入力後、自動復帰させることができます(復帰時間は設定メニューで選択)。
- カメラ入力端子1~4にマイクロホン付カメラを接続すると、カメラ付近の音を聞くことができます。
- カメラに異常が発生したとき、警告音を鳴らすとともに異常が発生したカメラの番号をモニターに表示します。
- 接続されていないカメラを自動的にスキップして表示します(オートスキップ機能)。
- 節電及び画面の焼き付き防止のために、画面を消しておくことができます(スタンバイ機能)。
- 設定メニュー(オンスクリーン)で以下の項目を設定できます。
  - ・カメラIDの表示/非表示
  - ・カメラIDの設定
  - ・音声切替の選択
  - ・自動切替(シーケンス)時間の選択
  - ・4画面ページ切替時間の選択
  - ・録画出力タイミングの選択
  - ・録画出力映像への黒画の挿入/非挿入
  - ・アラーム録画モード/リモート操作の選択
  - ・アラーム動作自動復帰時間の選択
  - ・アラームブザー音の出力時間の選択
  - ・チャンネル別低輝度補償の設定



### ビデオモニターとして使用可能

- VTRと接続して、ビデオモニターとしても使用できます。
- タイムラプスVTRに8台のカメラ映像を多重録画できます(フレーム単位で順次入力映像を切り換えて録画)。録画した映像は再生時に4画面表示できます。特定のチャンネルの画像を選択してスポット表示することもできます。
- アラーム入力と連動して、対応するカメラの画像を優先してVTRに録画できます(フレーム切替で録画)。

## 付属品をご確認ください



取扱説明書(本書).....1  
保証書.....1

束線バンド.....2



# 安全上のご注意 必ずお読みください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 <b>警告</b>	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
 <b>注意</b>	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	この絵表示は、してはいけない「禁止」の内容です。
	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です。

## 警告

### 工事は販売店に依頼する



工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。

- 必ず販売店に依頼してください。

### 異物を入れない



禁止

水や金属が内部に入ると、火災や感電の原因となります。

- ただちに電源プラグを抜いて、販売店にご連絡ください。

### 分解しない、改造しない



分解禁止

内部に高電圧があり、感電の原因となります。

- 修理や点検は、販売店にご依頼ください。

### 異常があるときは、すぐ使用をやめる



煙が出る、臭いがするなど、そのまま使用すると火災の原因となります。

- ただちに電源プラグを抜いて、販売店にご連絡ください。

### ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない



ぬれ手禁止

感電の原因になります。

- 乾いた布で手をふいてください。

### 電源プラグは根元まで確実に差し込む



差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

- 傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

# 安全上のご注意

## ⚠ 警告

### 電源コードは、必ずプラグ 本体を持って抜く



コードが傷つき、火災や感電の原因となります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

### 電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない (傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、 ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない)



傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

禁止

- コードやプラグの修理は販売店にご相談ください。

### 電源プラグのほこり等は 定期的にとる



プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因となります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

### コンセントや配線器具の定 格を超える使いかたや、交流 100V以外での使用はしない



たこ足配線等で、定格を超えると発熱による火災の原因となります。

禁止

### 可燃性雰囲気中で 使用しない



爆発し、けがの原因となります。

禁止

### 重量に耐える場所に 取り付ける



取付場所の強度が不十分なとき、落下や転倒などで、けがの原因となります。

- 取付場所を補強してください。

### 10度以上傾斜のある場所 には設置しない



落下などで、けがの原因となります。

禁止

- 傾斜のある場所に設置するときは、必ず落下防止処置を行ってください。

### 不安定な場所に置かない



落下などでけがの原因となります。

禁止

# 安全上のご注意

必ずお読みください

## ⚠️ 注意

### 落とさない、強い衝撃を与えない



けがや火災の原因となります。

禁止

### 踏み台や腰掛けにしない



けがの原因となります。

禁止

### 持ち運ぶときはコード類をすべて抜く



コードに足をかけたりして、けがの原因となります。また、コードが傷つき火災や感電の原因となります。

## 使用上のお願い

⚠️ **警告**、⚠️ **注意**に記載されている内容とともに、以下の項目をお守りください。

### 静電気について

ブラウン管の表面に手を触れると、ごく弱い電気を感じることがあります。これは、静電気を帯びているためです。異常ではありません。

### お手入れについて

- 安全のため電源プラグをコンセントから抜いて、行ってください。感電する恐れがあります。
- ベンジン、シンナーなど揮発性のものをかけたり、使用したりしないでください。ケースが変形したり、変色したりすることがあります。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- ふだんは乾いた布で拭いてください。汚れがひどいときは、うすめた台所用洗剤(中性)を柔らかい布にしみ込ませて、よくしぼり軽く拭いてください。

### 調節つまみについて

以下に示す調節つまみは、あらかじめ工場出荷時に調節されています。

調節が必要な場合は、販売店にご相談ください。

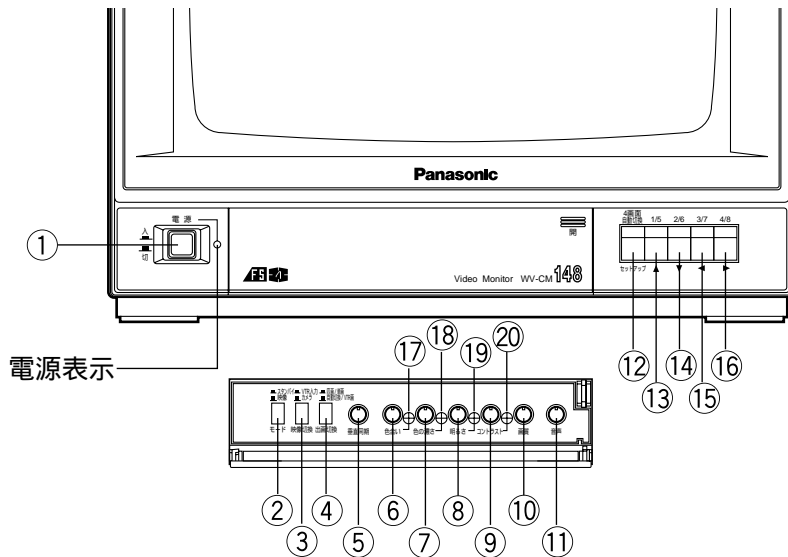
#### 前面パネル内

- 垂直同期調節ボリューム
- 色あい微調節ボリューム
- 色の濃さ微調節ボリューム
- 明るさ微調節ボリューム
- コントラスト微調節ボリューム

#### 後面

- フォーカスコントロール

# 各部の名前と働き(前面)



## ①電源スイッチ〔電源〕(切■/入■)

電源スイッチを「入」にするとスイッチ右側にある「電源表示」が点灯します。

### 電源スイッチについて

電源スイッチを「切」にしても電源からは遮断されません。電源を遮断する場合、ACコンセントから電源プラグを抜くか、電源制御ユニット使用時は電源制御ユニットの電源を切ってください。

## ②モードスイッチ〔モード〕 (スタンバイ■、映像■)

### スタンバイ■

：4画面表示または自動切換表示時に画面を消してスタンバイモードにします。〔カメラ選択〕スイッチを押すと、選択したカメラ映像を表示できます。〔4画面/自動切換〕スイッチを押すと、画面を消すことができます。

**映像■**：常時画面に映像を表示します。

## ③映像切換スイッチ〔映像切換〕 (VTR入力■、カメラ■)

### VTR入力■

：画面に後面の〔再生入力〕端子に入力した映像(VTR映像など)を表示できます。

### カメラ■

：画面にカメラ映像を表示します。

## ④出画切換スイッチ〔出画切換〕 (四画/単画■、自動切換/VTR画■) 四画/単画■

：〔4画面/自動切換〕スイッチで4画面表示に、〔カメラ選択〕スイッチで1画面表示に切り換えることができます。

### 自動切換/VTR画■

：〔映像切換〕スイッチが〔カメラ〕の場合、〔4画面/自動切換〕スイッチでカメラ映像が自動的に切り換わる「自動切換(シーケンス)画」に、〔カメラ選択〕スイッチで1画面表示に切り換えることができます。〔映像切換〕スイッチが〔VTR入力〕の場合、VTR再生画を見ることができます。

## ⑤垂直同期調節ボリューム〔垂直同期〕

垂直同期調節用のボリュームです。調節方法は30ページの「故障と思われる前に」をお読みください。

## ⑥色あい調節ボリューム〔色あい〕

自然な色が得られるように調節します。

肌色が紫色になるとき：右方向に回します。

肌色が緑色になるとき：左方向に回します。

### メモ

4画面を表示しているときに調整すると、〔増設モニター出力〕端子からの映像も色合いが変化します。

⑦色の濃さ調節ボリューム〔色の濃さ〕

自然な色調が得られるように調節します。

色がうすいとき：右方向に回します。

色が濃すぎるとき：左方向に回します。

メモ

4画面を表示しているときに調整すると、〔増設モニター出力〕端子からの映像も色の濃さが変化します。

⑧明るさ調節ボリューム〔明るさ〕

画面の明るさを調節します。

画面が暗いとき：右方向に回します。

画面が明るいとき：左方向に回します。

⑨コントラスト調節ボリューム〔コントラスト〕

画像の明暗比を調節します。

⑩画質調節ボリューム〔画質〕

画質を調節します。

画質をシャープにする：右方向に回します。

画質をソフトにする：左方向に回します。

⑪音量調節ボリューム〔音量〕

つまみを右方向に回すと音が大きくなります。適度な音量でお聞きください。

⑫4画面/自動切換,セットアップスイッチ  
〔4画面/自動切換,セットアップ〕

- 〔出画切換〕スイッチが〔四画 / 単画  $\blacksquare$ 〕のとき、画面を4画面で表示します。

- 〔出画切換〕スイッチが〔自動切換 / VTR画  $\blacksquare$ 〕のとき、画面を自動切換(シーケンス)で表示します。

- このスイッチを2秒以上押しつづけると設定メニューが表示されます。(  $\rightarrow$ 15ページ)

⑬カメラ選択〔1 / 5〕 / 上方向スイッチ〔▲〕

⑭カメラ選択〔2 / 6〕 / 下方向スイッチ〔▼〕

⑮カメラ選択〔3 / 7〕 / 左方向スイッチ〔◀〕

⑯カメラ選択〔4 / 8〕 / 右方向スイッチ〔▶〕

- 手でカメラを選択するときに使います。

- 各番号(チャンネル)は、後面の〔カメラ入力〕端子と対応しています。(〔1/5〕スイッチは〔カメラ入力〕1端子と〔カメラ入力〕5端子に対応しており、押すたびに交互に切り換わります)

- 設定メニューが表示されているとき、カーソルの移動や設定項目の選択に使います。

⑰色あい微調節ボリューム

⑱色の濃さ微調節ボリューム



⑲明るさ微調節ボリューム

⑳コントラスト微調節ボリューム





⑤,⑰,⑱,⑲,⑳は出荷時にあらかじめ調節されています。調節が必要なときは販売店にご相談ください。

# 操作のしかた

## 電源を入れる

1. システムカメラを接続している場合、システムカメラの電源スイッチを「入」にします。
2. 全ての接続と設定が完了したら電源プラグをACコンセントに差し込みます。  
必ずAC 100 V (50/60Hz) の電源に接続してください。
3. 電源スイッチを押して〔入  〕にします。  
電源表示が点灯します。  
電源を入れてから約30秒間はオンスクリーンで「VD2 SET UP」という文字が表示されて、安定した画像が表示されないことがあります。故障ではありません(カメラの設定を行っています)。
4. 電源を切るときは再度電源スイッチを押して〔切  〕にしてください。

### 重要

- 電源スイッチの入/切を短時間の間に繰り返して行くと、誤接続保護回路が働きカメラの電源が入らなくなります。この場合、電源スイッチをしばらくの間〔切  〕のままにしてから再度電源を入にしてください。
- 周辺機器が接続されている場合は、全ての周辺機器の電源を入れてから、本機の電源を〔入  〕にしてください。
- 長時間使用しないときは電源スイッチを〔切  〕にし、電源プラグをコンセントから抜いてください。なお、電源スイッチを〔切  〕にしても電源からは遮断されません。電源を遮断する場合、コンセントから電源プラグを抜くか、または電源ブレーカーをOFF(または「切」)にしてください。

## カメラの映像を見る

〔映像切換〕スイッチや〔出画切換〕スイッチなどを操作して表示方法を状況に応じて切り換えて確認できます。確認できる音声は画面の表示方法で異なります。各スイッチと音声の関係は下表のとおりです。

映像切換 スイッチ		出画切換 スイッチ	四画 / 単画		自動切換 / VTR画	
			4画面 / 自動切換	カメラ選択スイ ッチによる選択	4画面 / 自動切換	カメラ選択スイ ッチによる選択
カメラ	表示映像		4画面表示	1画面表示	自動切換	1画面表示
	スピーカー からの 出力 <sup>2</sup>	SEQ	自動切換	選択したチャン ネルの音声	自動切換	選択したチャン ネルの音声
		SPOT (1~8) <sup>1</sup>	セットアップメニュー “AUDIO SELECT” で選択したチャンネルの音声を出力			

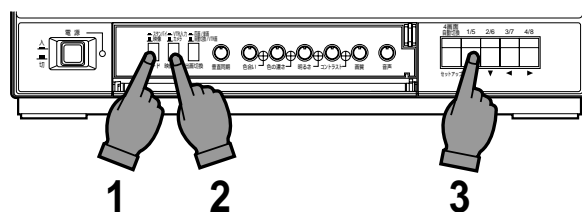
- 1 設定アップメニューの “AUDIO SELECT” での設定内容。
- 2 アラーム入力時はアラームが入力されたチャンネルの音声を出力します。



## 1画面表示で見る

接続しているカメラの映像を1画面表示します。

1. [モード]スイッチを[映像]にします。
2. 映像切換スイッチを[カメラ]にします。
3. 見たいカメラ番号の[カメラ選択]スイッチを押します。その番号のカメラ映像が表示されます。[カメラ選択]スイッチは、2つのカメラ番号に対応しており、[カメラ選択]スイッチを押すたびに切り換わります。



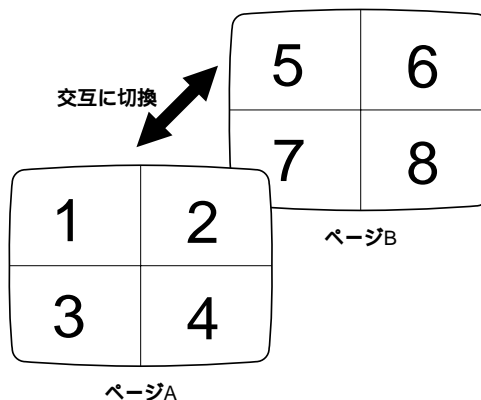
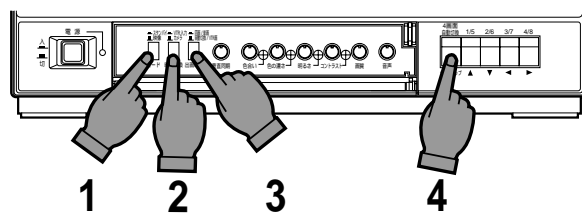
[1/5]スイッチ	カメラ1とカメラ5
[2/6]スイッチ	カメラ2とカメラ6
[3/7]スイッチ	カメラ3とカメラ7
[4/8]スイッチ	カメラ4とカメラ8

後面の[カメラ入力]端子にカメラが接続されていないチャンネルは、選択しても映像は切り換わりません。

## 4画面表示で見る

接続しているカメラの映像を4画面ページA(カメラ1~4)とページB(カメラ5~8)で表示します。

1. [モード]スイッチを[映像]にします。
2. [映像切換]スイッチを[カメラ]にします。
3. [出画切換]スイッチを[四画/単画]にします。
4. [4画面/自動切換]スイッチを押します。押すたびにページAとページBが交互に切換表示されます。また、設定メニューで4画面切換表示タイミングの選択(QUAD SEQ TIME)を設定して、自動で切り換えることもできます。



### オートスキップ機能

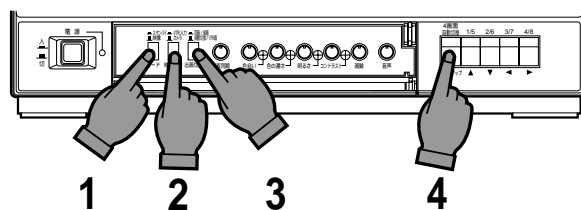
- 後面の[カメラ入力]端子にカメラが接続されていないチャンネルを選択すると黒映像になります。
- それぞれのページのカメラにおいて、4台とも接続されていない場合、4画面切換は行われません。

## 操作のしかた

### 自動切換(シーケンス)で見る

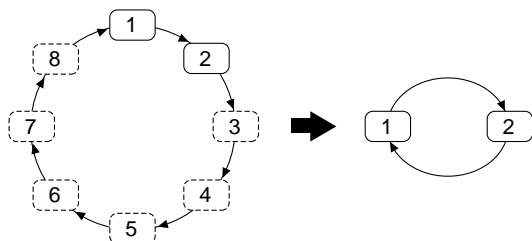
接続しているカメラのチャンネル番号順、設定した切換時間でカメラの映像を自動的に切換表示します。

1. [モード]スイッチを[映像■]にします。
2. [映像切換スイッチ]を[カメラ■]にします。
3. [出画切換]スイッチを[自動切換/VTR画■]にします。
4. [4画面/自動切換]スイッチを押します。映像を自動的に切換表示します。



### オートスキップ機能

- 後面の[カメラ入力]端子にカメラが接続されていないチャンネルは、自動的にスキップします(4画面表示と異なり、黒映像も表示されません。下図参照)。

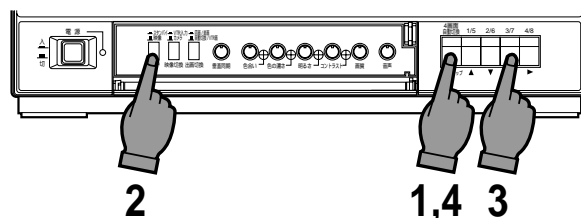


### スタンバイ機能の使いかた

スタンバイ機能で画面を消しておく、節電とともにCRTの焼き付きを抑えることができます。

画面を消していても、[録画出力]端子からカメラの映像が出力されており、VTRに録画することができます。

1. [4画面/自動切換]スイッチを押します。
2. [モード]スイッチを[スタンバイ■]にします。  
本体CRTに表示されていた画面が消えて、スタンバイモードになります。
3. スタンバイ中にカメラの映像を見たいときは、[カメラ選択]スイッチを押します。
4. もう一度画面を消すには、[4画面/自動切換]スイッチを押してください。



## VTRへ録画する

録画を開始する前に25ページの内容を参考にして、接続のしかたとVTRの設定内容を確認してください。

### 重要

- 音声を録音する場合、VTRの録画モードを「通常モード(2Hまたは6H)」または「リニアスローモード(L12H, L18HまたはL24H)」に設定してください。「タイムラプスモード」で録画すると、音声を正しく録音できません。
- カメラ設定メニューの"AUDIO SELECT"を"SEQ"に設定した場合、録画される映像のチャンネルと音声のチャンネルとは一致していません。録画したテープを確認するときは注意してください(ページA(カメラ1~4)の映像を表示していてもカメラ1の音声を出力しているとは限りません)。

### 「タイムラプス」または「リニアスローモード(L12H, L18HまたはL24H)」で録画する

1. [カメラ切換入力]端子にタイムラプスVTRからのカメラ切換信号を必ず入力してください。(接続のしかた⇒25ページ)
2. 設定メニューの“REC MODE”を“T-LAPSE”に設定します。(⇒18ページ)
3. VTRを「タイムラプス」または「リニアスローモード」に設定し、録画を開始します。  
録画するカメラの映像はVTRからのカメラ切換信号で自動的に順次切り換わります。したがって手動で録画するカメラを選択する必要はありません。

### メモ

VTR停止中または再生中はタイムラプスVTRからカメラ切換信号は出力されません。このとき、VTRの録画停止から約40秒後に、[映像出力]端子からは本機の内部タイマーによってフレーム単位で切り換えられた映像信号が出力されるようになります。

### 「通常モード(2H/6H)」で録画する

1. 設定メニューの“REC MODE”を“REALTIME”に設定します。(⇒18ページ)
2. VTRを「通常モード(2H/6H)」に設定し、録画を開始します。この場合、カメラ切換信号は必要ありません。

### メモ

[映像出力]端子には、本機の内部タイマーによってフレーム単位に切り換えられた映像信号が出力されます。

### アラーム時の録画について

設定メニューの“ALARM MODE”でアラーム入力時の録画モードを選択できます。

録画モードと動作の関係は以下のとおりです。

- “DYNAMIC”：アラームが入力されたチャンネルを優先して録画します。録画映像はフレームごとに切り換えられます。
- “SPOT”：アラームが解除されるまで、アラームが入力されたチャンネル映像が録画されます。

# 操作のしかた

## VTRの再生画を見る

本機からの映像を録画したテープだけ4画面または1画面表示を選択できます。その他の機器で録画したテープを再生しても、4画面または1画面表示はできません。

VTRの映像は〔出画切換〕スイッチと〔映像切換〕スイッチを操作してモニターに表示します。  
各スイッチと表示映像の関係は下表のとおりです。

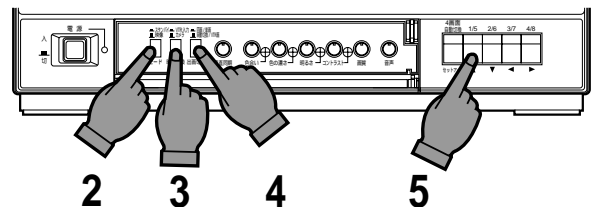
映像切換 スイッチ		出画切換 スイッチ	四画 / 単画		自動切換 / VTR画	
			4画面 / 自動切換	カメラ選択ス イッチによる選択	4画面 / 自動切換	カメラ選択ス イッチによる選択
VTR入力	表示映像		4画面表示	1画面表示	VTR再生画の映像を表示	
	スピーカーからの出力		〔音声入力〕端子に入力した音声を出力			

〔再生入力〕端子に入力した映像を表示。

### 1画面表示で見る

VTRの再生画を特定のチャンネルのみ1画面で表示します。

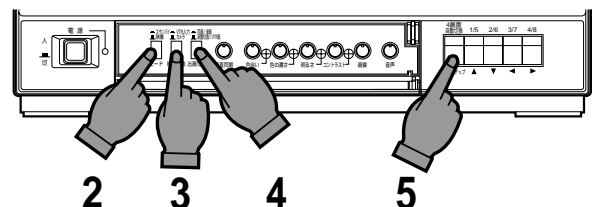
1. VTRを再生状態にします。
2. 〔モード〕スイッチを〔映像  $\blacksquare$  〕にします。
3. 〔映像切換〕スイッチを〔VTR入力  $\blacksquare$  〕にします。
4. 〔出画切換〕スイッチを〔4画 / 単画  $\blacksquare$  〕にします。
5. 再生したい番号の〔カメラ選択〕スイッチを押します。その番号の再生映像が表示されます。



### 4画面表示で見る

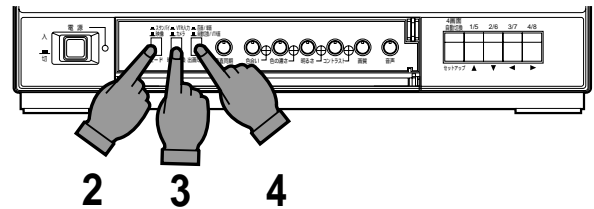
VTRの再生画を4画面(ページA(カメラ1~4)/ページB(カメラ5~8))で表示します。

1. VTRを再生状態にします。
2. 〔モード〕スイッチを〔映像  $\blacksquare$  〕にします。
3. 〔映像切換〕スイッチを〔VTR入力  $\blacksquare$  〕にします。
4. 〔出画切換〕スイッチを〔4画 / 単画  $\blacksquare$  〕にします。
5. 〔4画面/自動切換〕スイッチを押します。押すたびにページAとページBの再生映像が表示されます。



## 早送り / 巻戻し / 一時停止などで見る

1. VTRを早送り / 巻戻し / 一時停止などの状態にします。
2. [モード]スイッチを[映像■]にします。
3. [映像切換]スイッチを[VTR入力■]にします。
4. [出画切換]スイッチを[自動切換 / VTR画■]にします。



### 重要

- 本機ではVTRの逆再生映像を正常に表示することはできません。
- VTRの再生モードによっては各再生画面の上部で水平方向に映像が引かれること(スキュー)があります(故障ではありません)。
- VTRの再生時に横方向に線が走り上下の映像がずれることがあります(故障ではありません)。
- 再生時に映像またはタイトルが上下に揺れることがあります(故障ではありません)。
- VTRのヘッドの状態などによって、別々のチャンネルの映像が見えることがあります。頻繁に発生するときはVTRのトラッキング及びスロートラッキングを調整してください。現象が軽減します。
- 4画面再生時は画面を縮小しているため、テープに記録されている文字が読みにくくなります。文字を確認するときは、一画面表示にしてください。
- 録画モードにかかわらず、リニアモード(L12H, L18H, L24H)で再生すると画面にノイズが入ったり、他のチャンネルの映像が入ったりすることがあります。通常(2H / 6H)やタイムラプスモードで再生してください。

# 設定のしかた

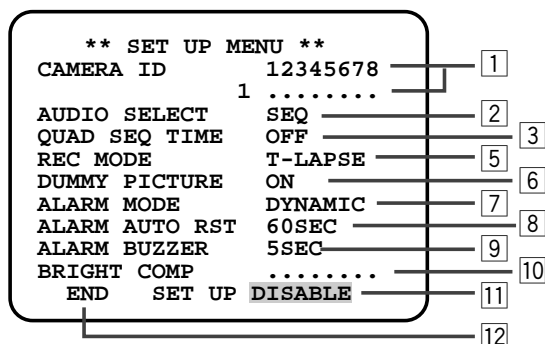
## 設定項目

### 設定の前に

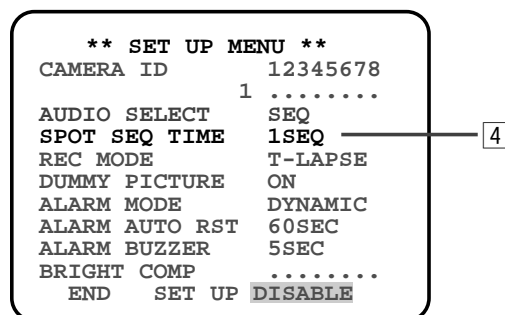
- カメラや周辺機器、アラームなどが正しく接続されているか確かめてください。カメラを接続していないと設定メニューは表示できません。
- 本機および接続する機器の電源を入れてください。

設定メニューは〔出画切換〕スイッチの設定によって表示される項目が以下ようになります。

〔出画切換〕スイッチが〔四画 / 単画  $\blacksquare$ 〕のとき



〔出画切換〕スイッチが〔自動切換 / VTR画  $\blacksquare$ 〕のとき



#### ①カメラIDの表示 / 非表示の選択・カメラIDの設定

⇨16ページ

上段でカメラIDを「表示する(1~8の数字を表示)」 / 「表示しない(●を表示)」を設定し、下段でカメラID(英数字8文字)を編集します。

#### ②音声切換の選択

⇨17ページ  
確認および録音するカメラ音声のチャンネルを設定します。

#### ③4画面ページ切換時間の選択

(〔出画切換〕スイッチが〔四画 / 単画  $\blacksquare$ 〕のとき)

⇨17ページ

4画面表示でページA / ページBの切換時間(秒)を設定します。

#### ④自動切換(シーケンス)時間の選択

(〔出画切換〕スイッチが〔自動切換 / VTR画  $\blacksquare$ 〕

のとき) ⇨17ページ

自動切換で映像を確認するときのチャンネル切換時間(秒)を設定します。

#### ⑤録画出力タイミングの選択

⇨18ページ  
〔録画出力〕端子へ出力されるカメラ映像の切換タイミングを設定します。

#### ⑥録画出力映像への黒画の挿入 / 非挿入

⇨18ページ  
〔録画出力〕端子へ出力される映像に黒画面を「挿入する(ON)」 / 「挿入しない(OFF)」かを設定します。

#### ⑦アラーム録画モード / リモート操作の選択

⇨18ページ

アラームが動作したときの録画方法 / 外部制御機能を設定します。

#### ⑧アラーム動作自動復帰時間の選択

⇨19ページ  
アラームが動作したとき、アラーム入力前の状態に自動復帰するまでの時間を設定します。

#### ⑨アラーム時間、ブザー音の出力時間の選択

⇨19ページ

アラームが動作したとき本機内蔵のブザーが鳴る時間を設定します。

#### ⑩チャンネル別低輝度補償の設定

⇨20ページ  
チャンネルによって見やすい画面、見にくい画面があるとき、チャンネルごとに低輝度部の輝度を設定します。

#### ⑪設定内容を変更する / しないの選択

⇨15ページ  
DISABLE : 設定不可能

ENABLE : 設定可能

### 重要

DISABLE(設定不可能)が表示されているときは、設定内容を変更できません。これは、誤操作によって設定内容を更新されるのを防ぐためです。

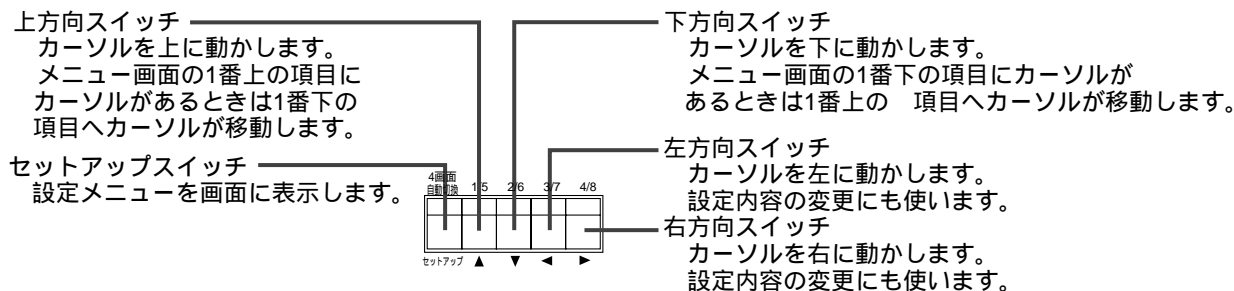
#### ⑫設定作業の終了

⇨15ページ  
作業を終了し、設定内容を本機内部のメモリーに書き込み、通常のカメラの画像に戻ります。

## 設定操作に使用するスイッチ

設定メニュー画面の点滅文字をカーソルといいます。設定を行うときはこのカーソルを移動して行います。

下図に示すスイッチを操作して設定メニューを操作します。



### メモ

[ ] : 本機前面、後面のスイッチや端子を表しています。  
“ ” : 設定メニューの項目を表しています。

## 設定手順

### 基本操作

#### 設定メニューに入る / 映像画面に戻る

[セットアップ]スイッチを2秒以上押し続けると、設定メニューがオンスクリーンで表示されます。

#### 設定内容を変更する前に

右方向スイッチ[▶]でカーソルを“DISABLE”(設定不可能)に移動します。

[セットアップ]を押すと“ENABLE”(設定可能)の表示に変わり、設定内容を変更できるようになります。

左方向スイッチ[◀]でカーソルを“END”の位置に戻します。

### 重要

“DISABLE”が表示されているときは設定内容を変更できません(カーソルは上下方向には移動しません)。これは誤作動によって設定内容が変更されるのを防ぐためです。

#### 設定内容を変更するには

上方向スイッチ[▲]または下方向スイッチ[▼]で変更したい項目の行にカーソルを移動します。

右[▶]または左方向[◀]スイッチを押して設定内容を変更します。設定項目によっては、[セットアップ]スイッチで切り換える項目もあります。詳しくは各設定項目の設定手順をお読みください。

#### 設定作業を終了するには

上方向スイッチ[▲]または下方向スイッチ[▼]で“END”にカーソルを移動します。

[セットアップ]スイッチを押します。

セットアップを終了し、カメラ映像画面に戻ります。

### 設定メニュー

```

** SET UP MENU **
CAMERA ID      12345678
                1 .....
AUDIO SELECT   SEQ
QUAD SEQ TIME  OFF
REC MODE       T-LAPSE
DUMMY PICTURE ON
ALARM MODE     DYNAMIC
ALARM AUTO RST 60SEC
ALARM BUZZER   5SEC
BRIGHT COMP    .....
END SET UP DISABLE
    
```

```

** SET UP MENU **
CAMERA ID      12345678
                1 .....
AUDIO SELECT   SEQ
QUAD SEQ TIME  OFF
REC MODE       T-LAPSE
DUMMY PICTURE ON
ALARM MODE     DYNAMIC
ALARM AUTO RST 60SEC
ALARM BUZZER   5SEC
BRIGHT COMP    .....
END SET UP ENABLE
    
```

### 重要

データを更新してから“END”で終了するとデータがメモリー(EEPROM)に書き込まれます。書き込まれたデータは、電源を切っても、次にデータが書き込まれるまで保存されます。

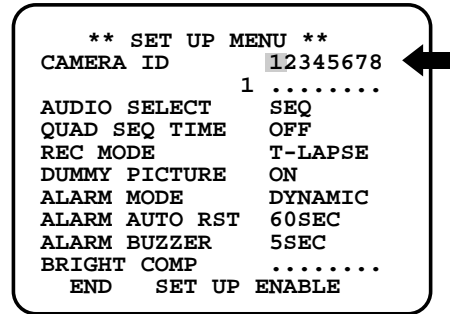
# 設定のしかた

## カメラIDに関する設定 (CAMERA ID)

カメラIDの表示 / 非表示の選択、およびカメラIDの編集を行います。

### カメラIDを表示するには

- ①カーソルを“CAMERA ID”の行に移動します。
- ②右方向スイッチ[▶]または左方向スイッチ[◀]でカメラIDを表示したいチャンネル1~8にカーソルを移動します。カメラを接続していないチャンネルは“-”で表示されます。
- ③〔セットアップ〕スイッチを押します。  
押す度に「カメラIDを表示する(“1”,“2”,“3”,“4”,“5”,“6”,“7”,“8”表示)または「表示しない(“•”表示)」を切り換えることができます。

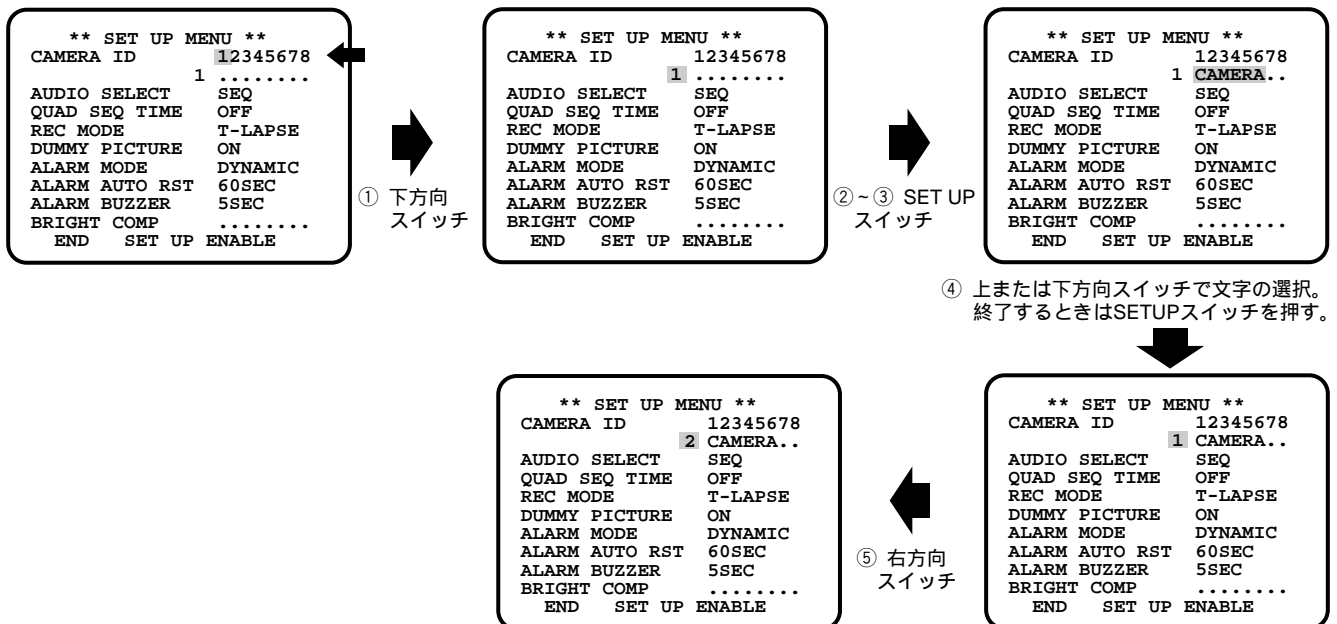


### カメラIDの編集

- ①カメラIDの編集は、2行目で行います。1行目で、設定するカメラを選択した後、下方向スイッチ[▼]で2行目に移ります。
- ②〔セットアップ〕スイッチを押します。カメラIDの内容を変更できます。
- ③右方向スイッチ[▶]または左方向スイッチ[◀]で文字の桁を変更して、上方向スイッチ[▲]、下方向スイッチ[▼]で希望する文字を選択します。カメラIDとして使用できる文字は下表のとおりです。

下方向スイッチ(▼)										上方向スイッチ(▲)										
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	A	B	C	D	E	F	G	H	I
J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	アイ	ウエ		
オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ	タ	チ	ツ	テ	ト	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ
ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	マ	ミ	ム	メ	モ	ヤ	ユ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ	ラン	
アイ	ウエ	オ	ツ	ヤ	ユ	ヨ	°	^	"	#	'	(	)	*	+	,	-	.		
/	=	.																		(ブランク)

- ④〔セットアップ〕スイッチを押します。
- ⑤他のカメラIDを編集するときには右方向スイッチ[▶]または左方向スイッチ[◀]でチャンネル番号を切り換えて、②~④の操作を繰り返します。





## カメラ音声の選択(AUDIO SELECT)

確認および録音するカメラ音声のチャンネルを選択します。

- ①カーソルを“AUDIO SELECT”の行に移動します。
- ②右方向スイッチ[▶]または左方向スイッチ[◀]で設定内容を切り換えます。
  - SEQ(工場出荷時の設定です)
    - ・画面に表示されている画像と一緒にカメラ音声も切り換わりま  
す。切替時間は“SPOT SEQ TIME”(☞下記参照)の設定時間と  
同じです。
    - ・アラームが入力されるとアラームが入力されたチャンネルのカ  
メラ音声が出力されます。VTRにも同じ内容が録音されます。
  - チャンネル固定(1~4選択)
    - ・画面に関係なく常に設定したチャンネルのカメラ音声を出力し  
ます。
    - ・アラームが入力されるとアラームが入力されたチャンネルのカ  
メラ音声が出力されます。VTRにも同じ内容が録音されます。

```
  ** SET UP MENU **
CAMERA ID      12345678
                1 CAMERA..
AUDIO SELECT    SEQ
QUAD SEQ TIME  OFF
REC MODE        T-LAPSE
DUMMY PICTURE  ON
ALARM MODE      DYNAMIC
ALARM AUTO RST 60SEC
ALARM BUZZER   5SEC
BRIGHT COMP    .....
                END   SET UP ENABLE
```

```
  ** SET UP MENU **
CAMERA ID      12345678
                1 CAMERA..
AUDIO SELECT    1
QUAD SEQ TIME  OFF
REC MODE        T-LAPSE
DUMMY PICTURE  ON
ALARM MODE      DYNAMIC
ALARM AUTO RST 60SEC
ALARM BUZZER   5SEC
BRIGHT COMP    .....
                END   SET UP ENABLE
```

## 4画面ページ切替時間の選択(QUAD SEQ TIME)

4画面表示でページA/ページBの切替時間を設定します。

- ①〔出画切替〕スイッチを〔四画/単画 1〕にします。
- ②カーソルを“QUAD SEQ TIME”の行に移動します。
- ③右方向スイッチ[▶]または左方向スイッチ[◀]で切替時間を設定します。

設定内容はOFF(自動切替なし)1~10SEC, 15SEC, 20SEC,  
25SEC, 30SECです。工場出荷時は「OFF」に設定されています。

```
  ** SET UP MENU **
CAMERA ID      12345678
                1 CAMERA..
AUDIO SELECT    1
QUAD SEQ TIME  OFF
REC MODE        T-LAPSE
DUMMY PICTURE  ON
ALARM MODE      DYNAMIC
ALARM AUTO RST 60SEC
ALARM BUZZER   5SEC
BRIGHT COMP    .....
                END   SET UP ENABLE
```

## 自動切替(シーケンス)時間の選択(SPOT SEQ TIME)

自動切替で映像を確認するときのチャンネル切替時間を設定します。

- ①〔出画切替〕スイッチを〔自動切替/VTR画 1〕にします。
- ②カーソルを“SPOT SEQ TIME”の行に移動します。
- ③右方向スイッチ[▶]または左方向スイッチ[◀]で切替時間を設定します。

設定内容は1~10SEC, 15SEC, 20SEC, 25SEC, 30SECです。工場  
出荷時は「1SEC(約1秒)」に設定されています。

```
  ** SET UP MENU **
CAMERA ID      12345678
                1 CAMERA..
AUDIO SELECT    1
SPOT SEQ TIME  1SEC
REC MODE        T-LAPSE
DUMMY PICTURE  ON
ALARM MODE      DYNAMIC
ALARM AUTO RST 60SEC
ALARM BUZZER   5SEC
BRIGHT COMP    .....
                END   SET UP ENABLE
```

## 設定のしかた

### 録画出力タイミングの選択( REC MODE )

〔録画出力〕端子へ出力されるカメラ映像の切換タイミングを設定します。

- ①カーソルを“ REC MODE ”の行に移動します。
- ②右方向スイッチ〔▶〕または左方向スイッチ〔◀〕で設定内容を切り換えます。

- T-LAPSE (工場出荷時の設定です)  
タイムラプスVTRなど、〔カメラ切換入力〕端子に入力される切換信号で切り換わります。
- REALTIME  
本機の内部タイマーによって切り換わります。

```

** SET UP MENU **
CAMERA ID      12345678
                1 CAMERA..
AUDIO SELECT   1
SPOT SEQ TIME 1SEC
REC MODE       T-LAPSE
DUMMY PICTURE ON
ALARM MODE     DYNAMIC
ALARM AUTO RST 60SEC
ALARM BUZZER   5SEC
BRIGHT COMP    .....
END SET UP ENABLE

```

### 録画出力映像への黒画の挿入 / 非挿入( DUMMY PICTURE )

〔録画出力〕端子へ出力される映像に黒画面の「挿入する(ON)」 / 「挿入しない(OFF)」を設定します。

- ①カーソルを“ DUMMY PICTURE ”の行に移動します。
- ②右方向スイッチ〔▶〕または左方向スイッチ〔◀〕で設定内容を切り換えます。

- ON (工場出荷時の設定です)  
録画出力映像に黒画面を挿入します。VTR再生時に、空チャンネルのノイズを消すことができます。
- OFF  
録画出力映像に黒画面を挿入しません。より高密度で記録することができますが、再生時に、空チャンネルにノイズが表示されることがあります。

```

** SET UP MENU **
CAMERA ID      12345678
                1 CAMERA..
AUDIO SELECT   1
SPOT SEQ TIME 1SEC
REC MODE       T-LAPSE
DUMMY PICTURE ON
ALARM MODE     DYNAMIC
ALARM AUTO RST 60SEC
ALARM BUZZER   5SEC
BRIGHT COMP    .....
END SET UP ENABLE

```

### アラーム録画モード / リモート操作の選択( ALARM MODE )

アラームが動作したときの録画方法 / 外部制御機能を設定します。

- ①カーソルを“ ALARM MODE ”の行に移動します。
- ②右方向スイッチ〔▶〕または左方向スイッチ〔◀〕で設定内容を切り換えます。

- DYNAMIC (工場出荷時の設定です)  
〔リモート / アラーム入力〕端子はアラーム入力として使用します。アラームが入力されたチャンネルの映像を優先して通常の録画時よりも多いコマ数で録画します。アラームが複数個所で発生した場合には、複数チャンネルの優先録画をします。
- SPOT  
〔リモート / アラーム入力〕端子はアラーム入力として使用します。アラームが入力されたチャンネルの映像のみを録画します。アラームが複数個所で発生した場合には、入力をもっとも新しいチャンネルを録画します。
- REMOTE  
〔リモート / アラーム入力〕端子は外部制御用として使用します。接続については「端子台について」(☞27ページ)をお読みください。

```

** SET UP MENU **
CAMERA ID      12345678
                1 CAMERA..
AUDIO SELECT   1
SPOT SEQ TIME 1SEC
REC MODE       T-LAPSE
DUMMY PICTURE ON
ALARM MODE     DYNAMIC
ALARM AUTO RST 60SEC
ALARM BUZZER   5SEC
BRIGHT COMP    .....
END SET UP ENABLE

```

## アラーム動作自動復帰時間の選択( ALARM AUTO RST )

アラームが動作したとき、アラーム入力前の状態に自動復帰するまでの時間を設定します。

- ①カーソルを“ ALARM AUTO RST ” の行に移動します。
- ②右方向スイッチ〔▶〕または左方向スイッチ〔◀〕で設定内容を切り換えます。  
設定内容はOFF(自動復帰なし)1SEC, 5SEC, 10SEC, 20SEC, 30SEC, 40SEC, 50SEC, 60SEC です。工場出荷時は「60SEC(約60秒)」に設定されています。

```

** SET UP MENU **
CAMERA ID      12345678
                1 CAMERA..
AUDIO SELECT   1
SPOT SEQ TIME  1SEC
REC MODE       T-LAPSE
DUMMY PICTURE  ON
ALARM MODE     DYNAMIC
ALARM AUTO RST 60SEC
ALARM BUZZER   5SEC
BRIGHT COMP    .....
END            SET UP ENABLE

```

### 重要

タイムラプスVTRなどから出力される復帰信号を本機の〔復帰入力〕端子に入力してアラームを自動復帰する場合、設定メニューの“ ALARM AUTO RST ” に設定した時間は無効になります。

## アラーム時間、ブザー音の出力時間の選択( ALARM BUZZER )

アラームが動作したとき、本機内蔵のブザーが鳴る時間を設定します。

- ①カーソルを“ ALARM BUZZER ” の行に移動します。
- ②右方向スイッチ〔▶〕または左方向スイッチ〔◀〕で設定内容を切り換えます。  
設定内容はOFF(ブザー音なし)1SEC, 5SEC, 10SEC, 20SEC, 30SEC, 40SEC, 50SEC, 60SEC です。工場出荷時は「5SEC(約5秒)」に設定されています。

```

** SET UP MENU **
CAMERA ID      12345678
                1 CAMERA..
AUDIO SELECT   1
SPOT SEQ TIME  1SEC
REC MODE       T-LAPSE
DUMMY PICTURE  ON
ALARM MODE     DYNAMIC
ALARM AUTO RST 60SEC
ALARM BUZZER   5SEC
BRIGHT COMP    .....
END            SET UP ENABLE

```

### メモ

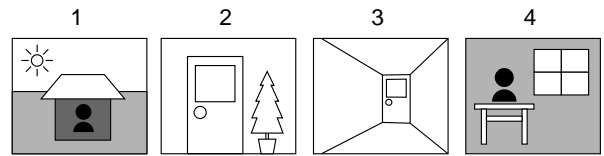
ALARM BUZZERの設定時間が、ALARM AUTO RSTの設定時間よりも大きい場合、実際にブザー音が鳴るのはALARM AUTO RSTの設定時間となります(鳴り続けることはありません)。

# 設定のしかた

## チャンネル別低輝度補償の設定 ( BRIGHT COMP )

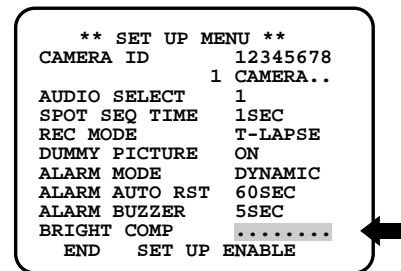
チャンネルによって見やすい画面、見にくい画面があるとき、チャンネルごとに低輝度部の輝度を設定します。

- ①カーソルを“ BRIGHT COMP ” の行に移動します。
- ②右方向スイッチ [▶] または左方向スイッチ [◀] でカメラIDを表示したいチャンネル1~8にカーソルを移動します。カメラを接続していないチャンネルは“-”で表示されます。



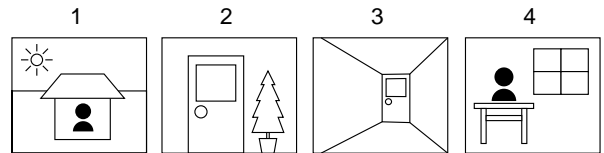
- ③ [セットアップ] スイッチを押します。押すたびに「低輝度補償ON(「1」,「2」,「3」,「4」,「5」,「6」,「7」,「8」表示)」または「低輝度補償OFF(「・」表示)」を切り換えることができます。

自動切換のとき、暗い画面があるチャンネルの低輝度部分(暗い画面)のみ輝度を上げることができます。明るい画面、暗い画面が混在しているとき、この機能により画面の明るさを最適化することができます。



### 重要

この機能は自動切換時の画面を見易くするためのものです。録画出力および増設モニター出力には、反映されません(低輝度補償OFFの映像が出力されています)。また、VTR再生画にチャンネル別低輝度補償は効かないので、前面の明るさ調節ボリューム、コントラスト調節ボリュームで調節してください。

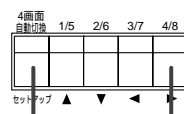


“ BRIGHT COMP ” ON OFF OFF ON

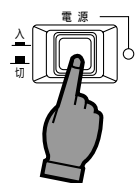
## 工場出荷時の状態にリセットする

設定メニューの各項目について、工場出荷時の状態に戻す場合には下記の手順にて行ってください。

- ①電源スイッチを[切]にします。
- ② [セットアップ] スイッチと右方向スイッチ [▶] を押しながら、電源スイッチを[入]にします。本機内蔵のブザーが鳴り、全ての項目を工場出荷時の状態にリセットします。



2つのスイッチを押しながら電源スイッチを押す



# 工事を始める前に

## ⚠ 注意

本機の工事は、必ず販売店に依頼してください。  
工事を始める前に、必ず3~5ページの「安全上のご注意」、「使用上のご注意」を読んでください。  
また、必ず電源スイッチを「切」にし、電源プラグをコンセントから抜いてください。感電の原因となります。

## 電源について

電源コードは必ず遮断装置を介した次のいずれかの方法で接続してください。

- ①電源コンセントの近くに設置し、遮断装置（電源プラグ）に容易に手が届くこと。
- ②3.0mm以上の接点距離を有する分電盤のブレーカーに接続する。ブレーカーは保護アース導体を除く主電源のすべての極が遮断できるものを使用すること。

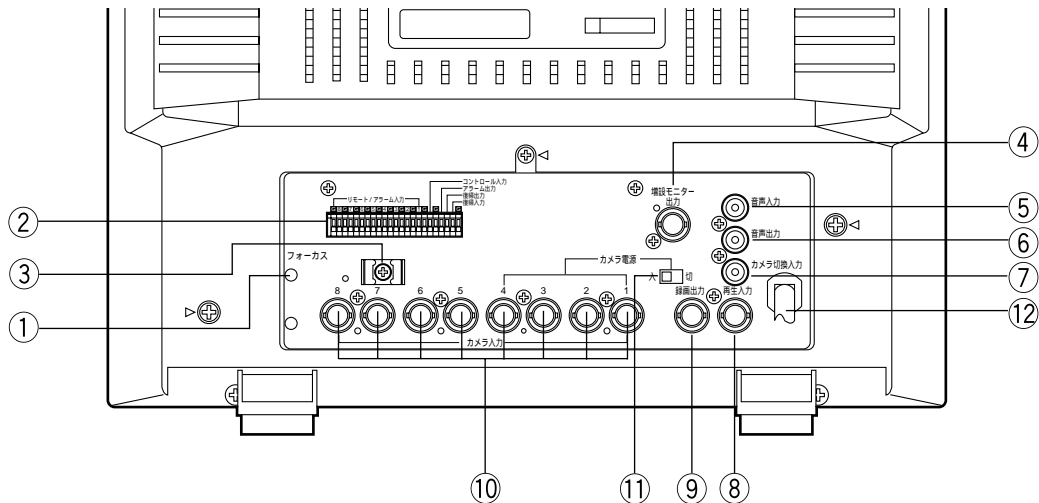
## 設置場所について

- 直射日光の当たる場所や、熱器具の近く、温風の吹き出し口に設置しないでください。
- 周囲温度は、 $-10 \sim +50$ 、湿度は90%以下でお使いください。
- 湿気やほこりの多い場所に設置しないでください。
- 車載用など振動の激しい場所には、設置しないでください。また、本機に無理な力がかかるような固定はしないでください。
- 本機を近接して設置する場合、15 cm以上離してください。相互に干渉しあい、画面に縞が入ることを防ぐためです。
- 上面、側面を壁面から5 cm以上離してください。
- 収納台や棚におく場合、後面のコネクターやケーブルに無理な力がかからないように奥行きを十分とってください。
- 本機を上下に重ねて置かないでください。
- 本機はラックマウントできません。

## 配線のしかたについて

- 使用するケーブルの太さと長さを確認してください。  
同軸ケーブルの最大距離は5C-2Vで500m、3C-2Vで200mです（芯線 + 外皮線の抵抗値が20Ω以下となるケーブルをお使いください）。これを超えると映像が乱れたり、雑音が入ったりします。
- 強度上の問題で、3C-2Vの同軸ケーブルを配管配線や、空中配線に使用しないでください。断線する恐れがあります。
- 以下に示すような場所に設置（配線）すると映像が曲がったり、雑音が入ったりすることがあります。
  - ①電灯線に近づけて配線している。このような場合、配線の位置や本機の位置を変更してください。
  - ②テレビやラジオの送信アンテナ、モーターやトランスなどの近くで使用している（強い電解・磁界の近くで使用している）。このような場所ではカメラケーブルを専用の薄鋼電線管にケーブルを通して設置してください。  
2台以上のビデオ受像機をお使いのときはビデオ受像機ごとに薄鋼電線管を設けてください。

# 各部の名前と働き(後面)



## ①フォーカスコントロール〔フォーカス〕

画面の焦点が合っていないときに調整します。工場出荷時に調整されていますので、調整が必要なときは販売店にご相談ください。

## ②端子台

外部からの入出力信号を接続する端子です。端子の種類は以下のとおりです。それぞれの端子の機能については27ページをお読みください。

入力端子	<ul style="list-style-type: none"> <li>● リモート / アラーム入力端子〔リモート / アラーム入力、1~8〕</li> <li>● コントロール入力端子〔コントロール入力〕</li> <li>● 復帰入力端子〔復帰入力〕</li> </ul>
出力端子	<ul style="list-style-type: none"> <li>● アラーム出力端子〔アラーム出力〕</li> <li>● 復帰入力端子〔復帰出力〕</li> </ul>

## ③タイマウント

端子台へ接続した線材を付属の束線バンドで束ねるときにお使いください。

## ④増設モニター出力端子〔増設モニター出力〕

本体画面表示と同じ映像を、他のビデオ受像機で見たいときに接続します。

1画面、4画面、自動切換のカメラ映像が画面に合わせて出力されます。ただし、以下の場合は本体画面と同じ映像は出力されません。

- VTR再生表示時：  
VTR再生画は表示されず、黒画面が表示されます。
- 設定メニュー表示時：  
設定メニューは表示されず、背景画のみ表示されます。

## ⑤音声入力端子〔音声入力〕

VTRに録音されている音声を聞くときに使います。VTRの音声出力端子と接続して、前面の〔映像切換〕スイッチを〔VTR入力〕の位置にすると、VTR再生音声を聞くことができます。

## ⑥音声出力端子〔音声出力〕

マイクロホン付きのカメラの音をVTRに録音するときに接続します。

## ⑦カメラ切換入力端子〔カメラ切換入力〕

タイムラプスVTRからのカメラ切換信号を入力する端子です。設定メニューの“REC MODE”を「T-LAPSE」にしてお使いください(☞18ページ)。

#### ⑧再生入力端子〔再生入力〕

VTRからの映像を画面に表示するときに使います。  
VTRからの映像出力端子と接続して、前面の〔映像切換〕スイッチを〔VTR入力 $\underline{\quad}$ 〕の位置にすると、VTR再生画を見ることができます。

#### ⑨録画出力端子〔録画出力〕

タイムラプスVTRへの録画映像信号を出力します。  
〔モード〕スイッチの状態に関係なく映像が出力されます。

#### ⑩カメラ入力端子〔カメラ入力〕

カメラからの映像出力信号を入力する端子です。  
〔カメラ入力〕1～4はテルックカメラまたはシステムカメラ用の入力端子です。システムカメラを接続するときは〔カメラ電源〕スイッチを〔切〕にしてください。

〔カメラ入力〕5～8はシステムカメラ専用の入力端子です。この端子にテルックカメラは接続しないでください。

#### ⑪カメラ電源スイッチ〔カメラ電源、入/切〕

〔カメラ入力〕1～4端子に接続したカメラへ電源供給のON/OFF切換を行います。

入：専用カラーテルックカメラを接続するとき

切：カラーシステムカメラ(多重VD(VD2)同期付き)を接続するとき

#### ⑫電源コード

電源プラグを、AC 100V(50/60Hz)のコンセントに接続してください。

#### 重要

〔カメラ入力〕1～4端子には、専用カラーテルックカメラまたは、カラーシステムカメラ(多重VD(VD2)同期付き)を接続できます。カラーシステムカメラを接続するときは、〔カメラ電源〕スイッチを〔切〕にしてから接続してください。〔カメラ入力〕5～8にシステムカメラ以外のカメラを接続しても正常に動作しません。

#### 重要

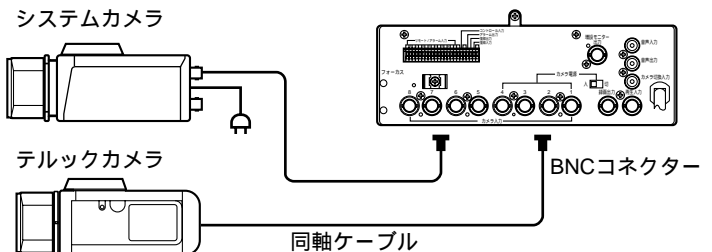
必ず〔カメラ電源〕スイッチを設定してからカメラを接続してください。カメラを接続してから、このスイッチを操作すると故障の原因になります。

# 接続のしかた

## カメラの接続

同軸ケーブルで接続します。

同軸ケーブル	最大ケーブル長と抵抗値 (芯線+外皮線)
3C-2V	約200 m以下かつ抵抗値20 以下
5C-2V	約500 m以下かつ抵抗値20 以下



### 重要

- カラーテレックカメラ、またはカラーシステムカメラ(多重VD(VD2)同期付)をお使いください。それ以外のカメラを接続しても正常には動作しません。
- フリッカレス機能付きカメラを使用するときは、必ずフリッカレスを「入」にしてください。
- カメラが接続されていないチャンネルの画像および録画画像は黒画面になります。このテープを自動切換で再生すると、黒画面が挿入されたように見えます(故障ではありません)。

## カラーテレックカメラの接続

カラーテレックカメラは〔カメラ入力〕1～4端子に接続できます。

〔カメラ入力〕5～8端子はシステムカメラ専用ですので、カラーテレックカメラは接続できません。

- ① 本機の電源スイッチを〔切■〕にします。
- ② 本機後面の〔カメラ電源〕スイッチを〔入〕にします。
- ③ 〔カメラ入力〕1端子から順にカメラを接続します。

### 重要

カメラを接続する前に電源スイッチが「切」になっていることを必ず確認してください。電源を入れたままカメラを接続すると誤接続保護回路が働きカメラは動作しません。

## カラーシステムカメラの接続のしかた

カラーシステムカメラ(多重VD(VD2)同期付)は、〔カメラ入力〕1～8端子に接続できます。

- 〔カメラ入力〕1～4端子にカラーシステムカメラを接続するとき  
本機後面の〔カメラ電源〕スイッチを〔切〕にしてから、〔カメラ入力〕1端子から順に接続します。  
この場合、カラーテレックカメラは接続できません。
- 〔カメラ入力〕5～8端子にカラーシステムカメラを接続するとき  
〔カメラ入力〕5端子から順に接続します。

### 重要

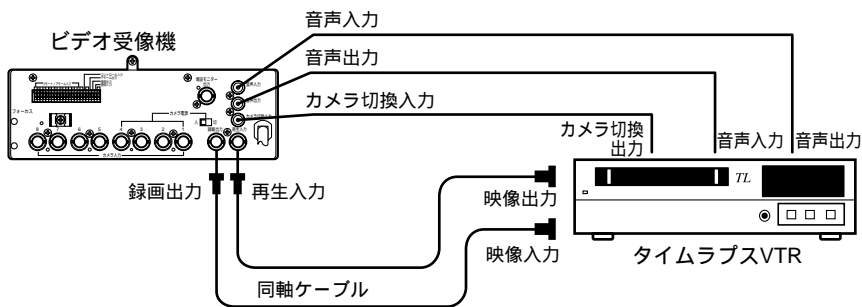
カラーシステムカメラの電源は本機の電源投入より前に入れてください。



## VTRの接続

### 接続手順

- ①VTRの映像出力と本機後面の〔再生入力〕端子をBNCプラグ付き同軸ケーブルで接続します。
- ②VTRの映像入力と本機後面の〔録画出力〕端子をBNCプラグ付き同軸ケーブルで接続します。
- ③VTRのカメラ切換出力と本機後面の〔カメラ切換入力〕端子とをRCAピンプラグケーブルで接続します。  
**必ず接続してください。**
- ④VTRの音声出力と本機後面の〔音声入力〕端子、VTRの音声入力と本機後面の〔音声出力〕端子とをそれぞれRCAピンプラグケーブルで接続します。



### 重要

- 録画時に垂直ブランキング期間内にコードを付加するVTRは使用できません(録画したテープを再生することもできません)。特にVTR側でキャラクタを設定できる機種をお使いの場合、キャラクタは必ず映像期間内に設定してください。垂直期間内に設定すると誤動作します。

### VTR側の設定について

次のように設定してください。詳しくはお使いになるVTRの取扱説明書をご覧ください。

#### (例1)AG-6740の場合

##### メニュー画面3

{ VIDEO }	IN	LINE
{ TIME ADJUSTING }	SET TIME	9:00
	OPERATION	MASTER

##### メニュー画面4

{ RESET PULSE }	INPUT LEVEL	HIGH
{ CAMERA SW }	TIMING	1FIELD
	MODE	TM2

##### メニュー画面11

{ TIME CODE }	POSITION	10H,12H
---------------	----------	---------

### 重要

- VTR側のアラーム録画モードは2H(2時間モード)に設定してください。
- リニアスローモード(L12H,L18H,L24H)で録画したテープを再生すると画面にノイズや他のチャンネルの映像が入ることがあります。この場合、通常(2H/6H)やタイムラプスモードで再生してください。

### 設定メニューの設定方法について

本機の設定メニューは次のように設定してください。

#### ●VTRに録音したい音声を固定する。

VTRに録音したい音声のチャンネルを固定したいときにだけ設定メニューの“AUDIO SELECT”を1~4(固定)に設定してください。ただし、アラームが入力されたときは、入力されたチャンネルの音声で録音されます。

#### ●タイムラプスまたはリニアスローモードで録画する。

設定メニュー項目の“REC MODE”を“T-LAPSE”に設定してください。

#### ●通常モードで録画する。

設定メニュー項目の“REC MODE”を“REAL TIME”に設定してください。

# 接続のしかた

## アラームの接続

本機のリモート/アラーム端子に、アラームセンサーからの信号を入力されることによって、アラームと連動した録画ができます。設定メニューの“ALARM MODE”で「DYNAMIC」か「SPOT」を選択してください（☞18ページ）。

使用できるアラームセンサーの条件は以下の通りです。

- ① 動作電圧：DC24V、100mA以下
- ② 動作電源：DCで動作すること
- ③ 極性

### アラーム入力端子の接続

〔リモート/アラーム入力〕1～8端子をセンサースイッチと接続します。

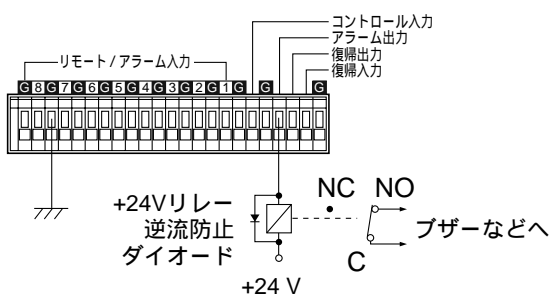
#### メモ

- 〔リモート/アラーム入力〕端子をアラーム入力として使用する場合、〔コントロール入力〕端子はアラーム入力時の表示画面の切り換えを行います。  
開放している場合：アラーム入力があったチャンネルのカメラ映像を1画面表示します。  
アースに接続している場合：アラーム入力があったチャンネルを含む4画面（ページA/ページB）のカメラ映像を表示します。

### アラーム出力端子の接続

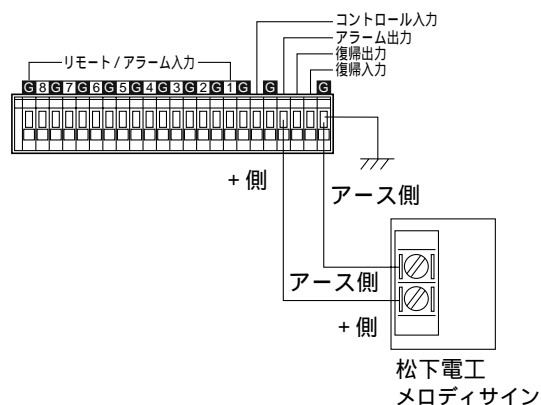
〔アラーム出力〕端子へは、下図のように接続してください。アラーム出力には極性があります。極性を確認して、正しく接続してください。アラーム出力の接点容量はDC24V 100mA以下です。

直接動作させられないとき  
(動作が接点容量をこえるとき)



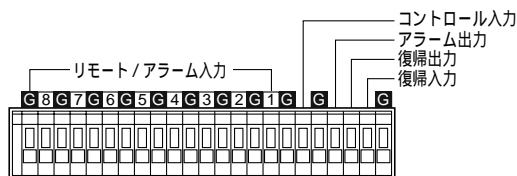
ブザーなどの起動スイッチに流れる電流がDC 24 V、100 mAを超える場合はアラーム出力端子で直接動作させることはできません。リレーなどを使ってブザーを鳴らしてください。

直接動作させるとき  
(接点容量内で動作するとき)



# 端子台について

外部からの入出力信号を接続する端子は、以下のような機能があります。  
用途に合わせてお使いください。



## 入力端子(無電圧メイク接点)

### リモート/アラーム入力端子〔リモート/アラーム入力、1～8〕

1～8のいずれかをアース〔G〕と短絡して、画面に表示するカメラを選択できます。設定メニューの“ALARM MODE”の内容によって、下記のように用途が変わります(☞18ページ)。

(a) 「DYNAMIC」, 「SPOT」の場合

アラーム入力端子として、タイムラプスVTRとアラーム録画を行うときに使用します。

(b) 「REMOTE」の場合

リモート入力端子として、外部から本機を制御するときに使用します。

外部制御では、1～8端子でカメラの選択を直接行うことができます。

### コントロール入力端子〔コントロール入力〕

設定メニューの“ALARM MODE”の内容によって、下記のように用途が変わる端子です(☞18ページ)。

(a) 「DYNAMIC」, 「SPOT」の場合

アラーム入力があった場合の、画面表示を切り換えます。アース〔G〕と短絡して、アラーム入力があったチャンネルを含むページ(ページA(カメラ1～4)/ページB(カメラ5～8))を4画面で表示します。

短絡がない場合は、アラーム入力があったチャンネルを1画面表示します。

(b) 「REMOTE」の場合

リモート入力端子として、外部から本機を制御するときに使用します。アース〔G〕と短絡して〔4画面/自動切換〕スイッチとして動作します。ただし、〔セットアップ〕スイッチとしては動作しません(外部制御から設定メニューは表示されません)。

### メモ

- アース端子とのメイク接点によって動作します。ただし、2つ以上のスイッチが同時にメイクされると、正しく動作しないことがあります。

### 復帰入力端子〔復帰入力〕

タイムラプスVTRなどからの復帰信号を入力して、アラーム出力及びブザー音を解除するための入力です。

### 重要

- タイムラプスVTRなどから出力される復帰信号を本機の〔復帰入力〕端子に入力してアラームを自動復帰する場合、設定メニューの“ALARM AUTO RST”に設定した時間は無効になります。

## 出力端子

### アラーム出力端子〔アラーム出力〕

本機にアラーム入力があったときに出力されます。

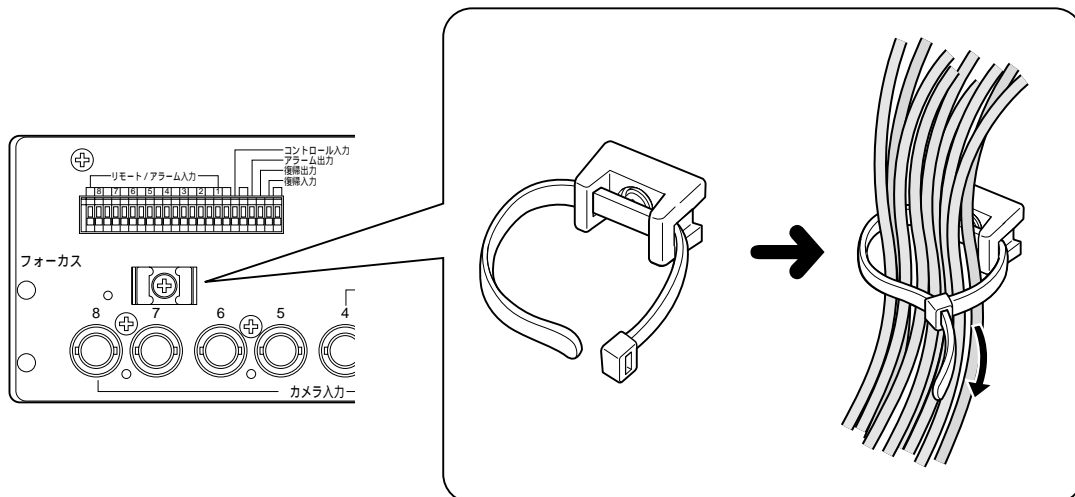
### 復帰出力端子〔復帰出力〕

タイムラプスVTRに復帰信号を出力して、アラーム状態を解除するための出力です。

アラーム動作時に手でアラーム復帰がなされたとき（〔4画面 / 自動切換〕スイッチが押されたとき）アラーム復帰入力があったときに出力されます。

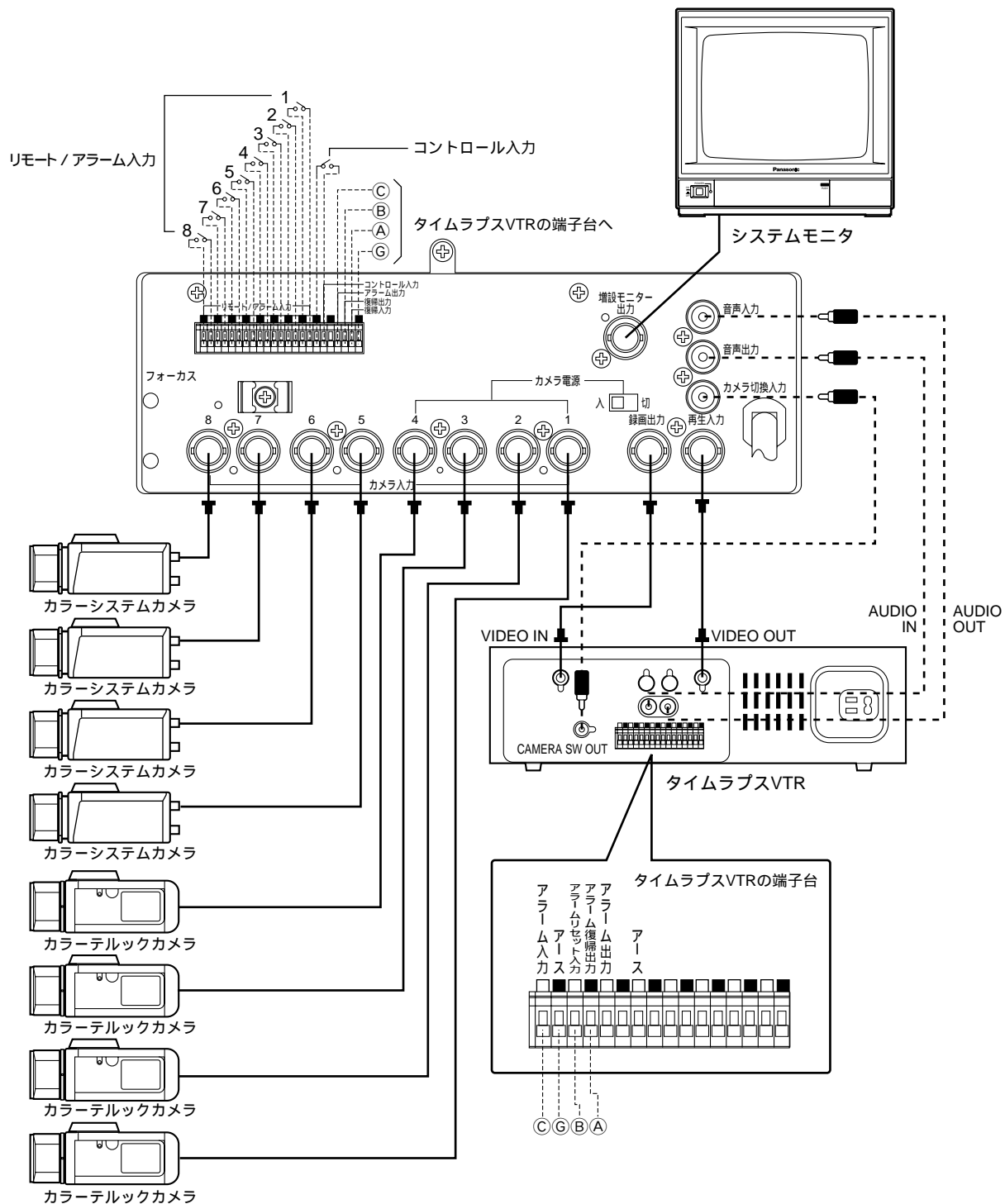
## タイマウントの使いかた

本機後面のタイマウントを使って、外部機器の線材を束ねます。



# システム接続例

## タイムラプスVTRと組み合わせる場合



### 重要

1. タイムラプスVTRと組み合わせ、さらに外部ブザーなどのアラーム出力を出すときは、タイムラプスVTRのアラーム出力をお使いください。詳しくは、タイムラプスVTRの取扱説明書を参照ください。
2. タイムラプスVTRで録音できない場合があります。詳しくは、タイムラプスVTRの取扱説明書をお読みください。

# 故障と思われる前に

修理を依頼される前に以下のことをご確認ください。

調べてもなお異常のあるときは電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご相談ください。

症 状	調 べ る と こ ろ
電源が入らない	電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていますか？
映像が出ない。	テレビカメラのレンズキャップをはずしましたか？ 同軸ケーブルは正しく接続されていますか？ 〔モード〕スイッチが〔スタンバイ〕になっていませんか？
	お願い：本機の電源が「入」のままテレビカメラを接続しても映りません。電源を「切」にしてから接続してください。 ：電源を「切」にした後、再度電源を「入」にするときは、約3秒以上時間をおいてください。電源を「切」にした後すぐ「入」にするとカメラ映像が映らないことがあります。
自動切替ができない。	〔リモート/アラーム入力〕端子の接続は正しいですか？ カメラ切替入力の設定/接続は正しいですか？ 設定メニュー/接続のしかたを確認してください。
画面に黒い帯が出る	垂直同期が合っていないためです。販売店に調整を依頼してください。 調整のしかた(販売店のかたへ) ①〔出画切替〕スイッチを操作して四画面表示にします。スポット表示のまま調整すると、四画面にしたときに垂直同期がずれることがあります。 ②垂直同期ボリュームを時計方向または反時計方向に回します。黒い帯が消えるように調整してください。 ③黒い帯が完全に消えたら、垂直同期ボリュームを帯が消えた方向にさらに約10°回してください。
初期設定(VD 2 SET UP)が終了しない	カラーテルックカメラまたはカラーシステムカメラ以外のカメラを接続していませんか？ 故障したカメラを接続していませんか？

# 仕 様

## 基本仕様

電 源	AC 100 V 50 / 60 Hz
消 費 電 力	約 110W (カメラ8台使用時)
C R T	90° 偏向 14型対角
画 面 サ イ ズ	280.8 (H) × 210.6 (V) mm
解 像 度	370本以上 (水平、中心部にて)
偏 向 直 線 性	水平 5 %以下 垂直 5 %以下
偏 向 ひ ず み	2 %以下
水平走査周波数	15.734 kHz
垂直走査周波数	59.94 Hz
スピーカ出力	最大1.0 W
周 囲 温 度	- 10 ~ + 50
寸 法	370 (幅) × 354 (高さ) × 389 (奥行) mm
質 量	約12 kg
仕 上 げ	カ バ ー : AVアイボリー色樹脂製 (マンセル7.9Y6.8/0.8近似色) エスカッション : AVアイボリー色樹脂製 (マンセル7.9Y6.8/0.8近似色)

## 入出力

カメラ入力	VS1.0 V[p-p]/75 × 8 (BNC接栓) カメラ入力1~4 : カラーテルックカメラ またはカラーシステムカメラ〔多重VD (VD2)同期付き〕 <sup>*1</sup> カメラ入力5~8 : カラーシステムカメラ〔多重VD (VD2)同期付き〕 <sup>*1</sup>
再 生 入 力	VS1.0 V[p-p]/75 × 1 (BNC接栓)
録 画 出 力	VS1.0 V[p-p]/75 × 1 (BNC接栓)
増設モニター出力	VS1.0 V[p-p]/75 × 1 (BNC接栓)
カメラ電源供給方式	定電流重畳伝送方式 (カメラ入力1~4はカメラ電源スイッチで入/切可能)
音 声 入 力	- 8 dB/Hi-Z (RCAピンジャック)
音 声 出 力	- 10 dB/100 (RCAピンジャック)
カメラケーブル長	最大約500 m (5C-2V使用時、ケーブル芯線+外皮線の抵抗 20 )

## 画面表示

映 像 切 換	自動/手動切換
自動切換時間	約1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 15, 20, 25, 30秒 (設定メニューで選択可能)
画 面 表 示	自動切換画/VTR画, 四画/単画
スキップ機能	オートスキップ

## リモート・アラーム

リモート入力 <sup>*2</sup>	8回路 無電圧メイク接点 (DC12V未満)
アラーム入力 <sup>*2</sup>	1回路/1カメラ 無電圧メイク接点 (DC12 V未満)
コントロール入力	1回路 無電圧メイク接点 (DC12V未満)
アラーム出力	1回路オープンコネクタ (DC24V 100 mA未満)
アラーム時間	手動復帰、約1, 5, 10, 20, 30, 40, 50, 60秒 (設定メニューで選択可能)
自動復帰機能	OFF、アラーム入力の約1, 5, 10, 20, 30, 40, 50, 60秒後 (設定メニューで選択可能)

\*1 カラーシステムカメラ〔多重VD (VD2)同期付き〕を接続するときは、カメラ電源スイッチを「切」にしてください。

\*2 リモート/アラーム入力は共用端子になっており、オンスクリーンメニューにて機能を選択できます。

# 保証とアフターサービス(よくお読みください)

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は・・・  
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

保証書(別添付)

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読み  
のあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

修理を依頼される時

30ページの表に従ってご確認の後、まず電源を切ってから、お買い上げの販売店へご連絡ください。

保証期間中は

保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。

保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる商品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

ただし、カラービデオ受像機の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後7年です。

注) 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

**技術料** は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

**部品代** は、修理に使用した部品および補助材料代です。

**出張料** は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

**便利メモ**(おぼえのため、記入されると便利です。)

お 買 い 上 げ 年 月 日	年	月	日	品 番	WV-CM148
販 売 店 名	☎ ( )			-	

松下電器産業株式会社  
松下通信工業株式会社 AVシステム事業部

〒224 - 8539 横浜市都筑区佐江戸町600 ☎ (045)932-1231(大代表)

N1099-1010

V8QA5282BN